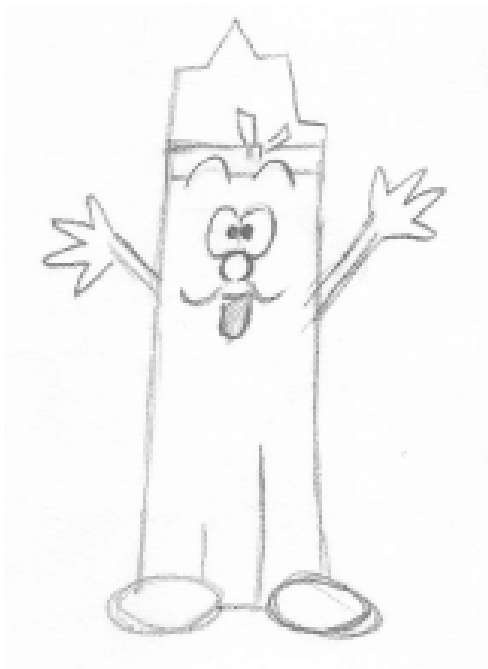


からくわ

方言辞典



気仙沼市立中井小学校 6年1組

はじめに

『地域の未来について考え、発信する。』

このテーマのもと、私たち6年生は、総合的な学習の時間に方言について学びました。

今回、『方言辞典』を作成するにあたって、多くの方にご協力をいただきました。

小山宗雄先生をゲストティーチャーとしてお迎えし、唐桑町の方言について、歴史的なことも交えながらお話いただき、たくさんの方のアドバイスをいただきました。

この冊子は、私たちが学んだ唐桑町の方言を整理することによって、『唐桑の魅力を伝えたい』という私たちの願いが詰まった方言辞典です。

また、私たちが学んだ唐桑町の方言を【動き】【場所】【もの・人】【感情】【対話】【様子】【海】【季節】の八つのジャンルに分けて整理したことは、私たちの『方言辞典』の特徴の一つです。

私たちが整理した『方言辞典』をくの方々にご覧いただけましたら幸いです。

< 目 次 >

【動き】	P 1 ~ P 3
【場所】	P 3 ~ P 4
【もの・人】	P 5
【感情】	P 5 ~ P 7
【対話】	P 7 ~ P 8
【様子】	P 8 ~ P 10
【海】	P 10 ~ P 11
【季節】	P 11 ~ P 12

【動き】

○用意する・予めとっておくこと・・・あでがう

こいつあんだのぶんにあでがっておいだんだ。(あなたの分用意しておきました。)

○行こう・行きませんか・・・あばえん

あんだも一緒にあばえん。(あなたも一緒に行きませんか。)

○一緒に行こう・・・あべえ

さああべえ。(さあ一緒に行こう。)

○移れ・席を譲れ・席を空けろ・・・うつつおれ

うつつおって年寄りをかけさせたらどうだ。(席を空けてお年寄りに座らせたらどうだ。)

○歩く・一步一步進む・・・えあぶ

さあも少しえあぶどてっぺんだ。(もう少し歩くと山頂だ。)

○受け答え・応答すること・・・えあへんど

まだはっきりしたえあへんど, もらったわけでねえけんとも・・・。

(まだはっきりした返事をもらったわけではないのですが・・・。)

○行こうよ・・・えぐべっちゃ

さあそろそろえぐべっちゃ。(さあそろそろ行こうよ。)

○身動き・体を動かすこと・・・えむずり

えむずりもゆるぐねぐなつたど。(体動かすのも大変になった。)

○ようこそ・いらっしやいませ・・・おいでなはれせ

おいでなはれせ, さあさあどうぞどうぞ。(いらっしやませ, さあさあどうぞどうぞ。)

○降りる・下りる・上から下に移ること・・・おづる

お忘れ物の無いように順々におづでくださあい。

(お忘れ物の無いように順々に降りてください。)



○なすりつける・他人のせいにする・・・かつける

あぶなぐかつつけられつとごだった。(危くなすりつけられるとごだった。)

○担ぐ・・・かんつぐ

まんまどかんづがれですまった。(簡単に担がれてしまった。)

○乱暴にかき混ぜること・・・かんまぜる

急いでかんまぜろ。(急いでかき混ぜなさい。)

○急性の腰痛症・ぎっくり腰・・・きっくらごし

きっくらごすながながなおんねえで参ったや。

(ぎっくり腰が、なかなか治らなくて参ったな。)

○いきなり・急に・・・ぐえら

運動会の綱引きでぐえら離されたんで、みんなひっくり返ってしまった。

(運動会の綱引きで急に離されたから、みんなひっくり返った。)

○頼まれもしない人の世話を買ってでる・・・くまんつあん

あいづもくまんつあんするがらなあ。(あの人は余計なことをするからねえ。)

○他人同士の話に割り込む・話の骨を折る・・・ささこいれる

まだあいづのささこいれはづまった。(またあの人、話の割り込みが始まった。)

○からかう・けし掛ける・・・すっかげる

すっかげでばりいねえで、さっさど仕事やれ。

(からかってばかりいないで、さっさと仕事をしなさい。)

○すがりつく・・・たんぐづぐ

よぐたんぐづでらいよ。(よくすがりついてなさいよ。)

○いたずら・手なぐさみ・・・てわっしゃ

てわっしゃばりすてねえで、体動がすて稼げ。

(手ばかり動かさないで、体を動かして働きなさい。)

○わき見・よそ見・・・ほっかみ

ほっかみすねえで、前見でさっさど歩げ。(よそ見しないで、前見て歩きなさい。)

○丁寧・念入り・儉約・・・までい

までいに使えよ。(丁寧に使いなさいよ。)

【場所】

○顎・・・あぐ

なんとあぐの長え人だなあ。(なんと顎の長い人だなあ。)

○辺り一带・・・あたりほどり

あたりほどりよっく見でがら渡んだよ。(辺りをよく見て渡りなさいよ。)

○あなたの家・・・あんだえ

あんだえは何町、どの辺だべ？(あなたの家は何町、どのあたり？)

○行ったり来たりする・・・いぎき

ご近所同士、仲良くいぎきしろよ。(ご近所同士、仲良く行ったり、来たりしなさい。)

○表面・外側・・・うわっころ

うわっころはええが、中身がだめだった。(表面は良いが、中身がだめだった。)

○裏の戸口・・・うらんと

その用ならうらんとの方さ回ってけさい。(その用なら裏の戸口を回ってください。)

○刺々しいさま・・・えかぼか

何だべえかぼかって、おらやんだごどあ。(刺々していて私は嫌だ。)

○家中・親戚に関係あること・・・えんなが

あれもおらどこのえんながだ。(あそこも私の親戚だ。)



○陸・陸地のこと・・・おが

みなどまづりには、おがのお客さんがいっぱいくるんだ。

(港祭りには、陸のお客さんがたくさん来る。)

○我が家・私の家・・・おらどこ

おらどこさ集まってから早く来て。(私の家に集まっているからすぐ来て。)

○首筋・・・くびた

なんだかくびたの回りが苦しい。(なんだか首筋の回りが苦しい。)

○街道・・・けえど

あそこの曲がり角で、けえど間違えんなよ。(あそこの曲がり角で、街道と間違えないで。)

○台所・・・たなめえ

たなめえの方にいるはずだから、声掛けてみて。

(台所の方にいるはずだから、声かけてみて。)

○額・・・でび

でびに傷ができた。(額に傷ができた。)

○倉庫・・・なや

なやに荷物がある。(倉庫に荷物がある。)

○頬・・・ほったぶ

ほったぶが赤くなる。(頬が赤くなる。)



【もの・人】

○あら汁 …… あらずる

寒鱈のあらずるもうんめえなあ。(寒鱈のあら汁も美味しいなあ。)

○いとこ・はとこ …… えどごはどご

なんと今日はえどごはどごお揃いで。(なんと今日はいとこ・はとこお揃いで。)

○和尚さん …… おっさん

さぁおっさん般若湯(酒)でがす。(さぁ和尚さん般若湯です。)

○手伝ってもらった人 …… おでってえど

おでってえども帰ったようだ。(手伝ってもらった人も帰ったようだ。)

○煮染め …… おにすめ

このおにすめはええあじだ。(この煮染めは良い味だ。)

○おふかし …… おふかす

おふかすもなづがすぐなった。(おふかしもなづかしくなった。)

○塩辛 …… すおがら

あまり減塩すたんではすおがらって言わねえど。

(あまり塩を減らしたのでは塩辛とは言わないぞ。)

○ふきのとう …… ばっけ

ばっけみそ、てんぷらは春の香りだな。

(ばっけ味噌とふきのとうの天ぷらは春の香りだな。)

【感情】

○飽き飽き(する)・さんざん …… あぎあぎ

あぎあぎ待ったども来ねがった。(さんざん待ったけれど来なかった。)



○居心地が悪い . . . いだそらねえ

いだそらねえがら早くかえって来た。(居心地がわるかったので早く帰って来た。)

○恥ずかしい・あいさつ . . . おしよすい

いっつもかっつもおしよすさまでござりあす。

(いっつもいっつもお世話になっています。)



○怒る怒る . . . おっかなおっかな

事故現場おっかなおっかなのぞいて来たでば。(事故現場を怒る怒る覗いて来た。)

○元気がないさま . . . かがかが

どうしたんだかがかが言って。(どうしたんだ弱音を吐いて。)

○頑固な . . . かだごと

あの人はかだごとな人だから。(あの人は、頑固な人だから。)



○怠ける・怠け者 . . . かばねやみ

あれはかばねやみでは出来ねえごった。(あれは怠け者では出来ないことだ。)

○つまらない・下らない . . . げあねえ

せつがぐの日曜日だつつのに雨降りでげあねあやあ。

(せつかくの日曜日だというのに、雨降りでつまらないなあ。)



○羨ましい . . . けなりい

大きな息子さんでけなりいごどあ。(大きい息子さんで羨ましいなあ。)

○疲れた . . . こえあ

こえあや、やっぱ年だべが。(疲れたなあ、やはり年だろうか。)

○腹が立つ . . . ごせっぱらやげる

あんなごど言われつとごせっぱらやげるもんなあ。

(あんな事を言われると腹が立つものなあ。)



○気恥ずかしい・・・こっ恥ずかしい

みんなの前でこっ恥ずかしい思いすたや。(みんなの前で気恥ずかしい思いをした。)

○にこにこ喜ぶ・・・にこらかこら

あのわらすいづもにこらかこらってるや。(あの子供はいつもにこにこしているな。)

【対話】

○あるまいし・・・ありやすめえ

子供でありやすめえ、買い物忘れて来るなんて。

(子供であるまいし、買い物を忘れて来るなんて。)



○いいじゃないか・・・いいべっちゃ

それぐらいのことならいいべっちゃ。(それぐらいのことならいいじゃないか。)

○そうではない・・・うんでねえ

うんでねえ、こっちの方が近道だよ。(そうではない、こっちの方が近道だよ。)

○よしよし・いいとも・・・えっかえっか

ああ、それでえっかえっか。(ああ、それでいいとも。)



○やれやれ・・・じゃじゃ

じゃじゃ、家に呼ばれたから行ってくる。(やれやれ、家に呼ばれたから行ってくる。)

○動かないで・・・ちょんてろ

車が止まるまでちょんてろよ。(車が止まるまで動かないで。)



○驚いた・・・ばあばあ

ばあばあ、こんなにたくさんいらっしやって。

(驚いた、こんなにたくさんいらっしやって。)



○仲間に入りませんか・・・はまらいん

さあ、今年もはまらいん！（さあ、今年も仲間に入りませんか！）

○ほんに・まあまあ・・・ほにほに

ほにほに、子供のいたずらにやまいった。（まあまあ、子供のいたずらにやまいった。）

○あれあれ・・・や・や・や

や・や・や、こりや珍しいこと。（あれあれ、こりや珍しいこと。）

○そうでもない・・・んん

んん、午後には雨が降るってよ。（そうでもない、午後には雨が降るってよ。）

【様子】

○自分の健康状態・・・あんべあ

今日は、雨降りのせえが、あんべあわりいや。

（今日は、雨が降っているからか、具合が良くない。）

○実が熟す・熟れる・・・えむ

このトマトは、えみ過ぎたなあ。（このトマトは、熟しすぎたなあ。）

○食べ物にがつがつしている人・・・がすどすうまれ

その食いつぶり、がすどすうまれでねえべが。

（その食べっぷり、がつがつしているなあ。）

○締まりのない・・・かっつまんねえ

あいつ、かっつまんねえなあ。（あいつ締まりがないなあ。）

○だらしないこと・・・しどけねえ

なんと、しどげねえ格好すて。（なんと、だらしない格好をして。）

○厳しく冷え込む・・・しばれる

今晚は、かなりしばれそうだな。(今晚は、厳しく冷え込みそうだな。)

○壊れやすい・・・じゃっか

この車、じゃっかじゃねえの。(この車、壊れやすそうだな。)

○スタイル・・・すがら

すがらこのええごどお、タレントさんみでえだや。

(スタイルが良くて、タレントさんみたいだな。)

○急ぎ足の様子・落ち着き無く歩き回ること・・・すたくた

すたくたって、どごさ行くどごっさ。(急ぎ足で、どこに行くんだい。)

○しなびる・枯れる・・・すなびける

水やんねがら、すなびけてしまったや。(水をあげないから、枯れてしまった。)

○弱そうだが、芯が強い。食らいついたら離さない・・・すびらこい

なかなかすびらこいどごあるやつだ。(なかなか芯が強い人だ。)

○怠けること・けろっとしていること・・・ずらっと

よぐもずらっとすて街歩いているもんだ。(よくもけろっとして街を歩いているなあ。)

○水が凍った路面・・・たっぺん

あそごはたっぺんだがら気いつけろ。

(あそこの路面は水が凍っているから、気をつけてね。)

○てんでに・別々に・ばらばらに・・・てんでんこ

行くどぎ一緒だったが、帰りはてんでんこだった。

(行く時は一緒だったが、帰りはばらばらだった。)

○どっちみち・適当に・・・どうだれこうだれ

どうだれこうだれやってみろ。(適当にやってみなさい。)

○中途半端・どっちつかず・・・ながらはんと

今の仕事，ながらはんとで辞めだどっさ。(今の仕事，中途半端で辞めたらしい。)

○うるさい・・・やがますねえ

朝まっから，ヘリコプターのやがますねえごどやあ。

(朝から，ヘリコプターがうるさいなあ。)



【海】

○出航後初めの漁・初漁・・・あずげ

あずげは，おかず程度だ。(初漁で取れた魚は少なくて，おかず程度だった。)

○潮が満ちてくる・上げ潮・・・いそがたてる

いそがたででくっから，上がっぺ。(潮が満ちてくるから，陸に上がろう。)

○サンマの異称(魚市場用語)・・・うま

今年ほうまが取れねがった。(今年もサンマが取れなかった。)

○川魚のうぐい・・・ おおげあ

この雨であ，川さおおげあのぼるな。(この雨では，川にうぐいがのぼって来るな。)

○ウニ(6月ごろ地元に限って漁を開ける)・・・かぜ

明日あ，かぜの開口だっつよ。(明日はウニの開口だっつよ。)

○手漕ぎ舟(磯漁や釣りをする櫓(ろかい)舟)・・・かっこ

かっこも，船外機つけて漁場さ行く時代になったな。

(手漕ぎ舟も，船外機をつけて漁場に行く時代になったな。)



○口開き(アワビやウニ，海草などの解禁・開口)・・・くづあぎ

あすなさは，くづあぎ日和になりそうだな。(明日の朝は，開口になりそうだな。)

○マグロ・成魚，キハダマグロのなまり・・・すび

このすび，でっけえごど。（このキハダマグロ，大きいな。）

【季節】

○盆の初め・・・あがすたて

あがすたてには手伝いに来て。（盆の初めには手伝いに来て。）

○秋の初め頃・・・あきさが

今度はあきさがに来るから。（今度は秋の初め頃に来るから。）

○明日にも・・・あすあす

あそこのおっぴさん，あすあすなようだな。

（あそこのおっぴさん，明日にものようだな。）

○いつか・・・いつがかつが

いつがかつが行ってみたいな。（いつか行ってみたいな。）

○すでに・・・いっつに

いっつに終わっているよ。（すでに終わっているよ。）

○いつもいつも・・・いっつもかっつも

いっつもかっつもご馳走になって。（いつもいつもご馳走になって。）

○そのうち・・・いまずに

いまずにお伺いします。（そのうちお伺いします。）

○いつのまに・・・えづのこまに

えづのこまに来てたの。（いつのまに来てたの。）

○非常に寒い・・・からすばれ

今年は，からすばれの日が多いなあ。（今年は，非常に寒い日が多いなあ。）

P 1 2

○今日・・・きょうび

きょうびは10時集合だからな。(今日は10時集合だからな。)

○とつくに・・・とつくのとうがに

それはとつくのとうがに前の話だよ。(それはとつくに前の話だよ。)

おわりに

私たちが整理した『方言辞典』を最後までお読みいただきありがとうございました。

気仙沼市は、10年前に起きた東日本大震災後、復興を目指して色々な取組を行ってきました。今年、三陸沿岸道路も開通し、今後、気仙沼市は更に発展していくと考えています。

そうした中、最近では、方言を聞く機会が少なくなっています。

私たちは、方言を多くの人に知ってもらうことも復興に繋がると考えています。

そのためには、唐桑町の方言を多くの人に伝えていかなければなりません。

この『方言辞典』が、その一助になればと考えています。

最後になりましたが、この『方言辞典』の作成に携わってくださった皆様、ありがとうございました。

令和2年度

気仙沼市立中井小学校6年

梶原 颯介

小野寺 日葵

佐藤 小夏

佐藤 葉月

千葉 希

